

2026年6月21日（主の日）

司式：星野薫長老

■招詞 ヨブ記 22:21-22 「あなたは神と和解し、平和を得てほしい。／そうすれば、幸いが訪れる。神の口から教えを受け／その言葉を心に留めてほしい。」

■礼拝の祈り

教会の頭なる主イエス・キリストの父なる神様、

<礼拝の招きへの感謝>

主の日の朝、あなたを礼拝するために、私たちは今ここに集まっております。同じ教会の肢とされた仲間と共にここにいます。あなたによって造られ、あなたに救われた私たちにとって何と大きな喜びかと思えます。共にあなたを見上げ、祈りと賛美をささげたいと願います。そのような私たちの思いが一つとされ、主の体につながる群れとして建て上げられていきますように。そして今この場所にはいない仲間の兄弟姉妹もまた、同じ主の体につながって、共にささげる礼拝としてください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

主よ、御前に立たされている今、いかにこの身があなたから離れていたかということを思い知らされています。ここに集ったことを喜びつつ、なお罪ある者であることを恐れなくてはなりません。日々の歩みの中で隣人を傷つけ、自らをも傷つけたことを心より悔いるものです。私たちはこの罪から逃れたいと願いながら、自分の力によってはなしえないことを思います。そして、私たちがそのように悔い改めるとしても、それらがいかに浅いものであるかを思わずにはられません。しかし、あなたは聖霊を与えて私たちの祈りを導き、言葉にならない言葉をも聞き取ってください、御心に適った悔い改めへと導いてくださいます。御子イエスの十字架の贖いによって赦されていることが心のうちに確かにされ、私たちの悔い改めを真実なものとしてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

今日御言葉を取り次ぐために、柏木英雄先生をお遣わしく下さり感謝いたします。御言葉を語る柏木先生に、またそれを聞く一人ひとりに、聖霊が豊かに働いて下さり、共に御言葉の恵みにあずかることができますように。そして御言葉によって私たちを造り変え、新しい命に生きる者としてください。

私たちの救い主、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

＜御言葉の恵みへの感謝＞

＜新しく迎える人々のために＞

私たちのこの礼拝に、新しい方々を招くことを願って今日の礼拝をささげました。多くの人たちと共に御言葉の恵みを分かち合い、共にその恵みに生かされていきたいと願っています。礼拝に参加しようとの思いを与えてくださったあなたが、一人ひとりの願いと求めを知ってくださり、心の中の声を聞き届けてくださいますように。あなたが私たちと共にいてくださいますように。

＜神奈川連合長老会のために＞

主よ、本日は神奈川連合長老会の講壇交換の礼拝でもありました。連合長老会の諸教会が、同じ御言葉に養われ、同じ信仰に立っていることを改めて経験させられ、深く感謝いたします。この諸教会の群れを、この地における福音の前進のためにお用いください。この群れに属する教師・信徒を主が祝してくださいますように。特に、本日、私たちに御言葉を取り次いでくださった柏木英雄牧師の働きをあなたが祝し、豊かに用いてください。

＜助けを必要としている人たちのために＞

教会の友の中に高齢のため、病気のために礼拝に出席できない者が多くいます。家族と共に、あるいは一人でささげる礼拝に主が共にいてくださり、祝福をもってお守りくださいますように。体のこと、生活のことで負っている重荷をキリストが共に担ってくださっている、そのことを心のうちに確かにさせてください。御言葉によって養われながら、一日一日を歩むことができますようお支えください。そして助けを必要としている人たちのために私たちがとりなし祈り、あなたが示してくださる必要なわざに仕えていくことができますよう導いてください。

＜週日の生活のために＞

この礼拝から送り出されて、それぞれの場に遣わされようとしています。あなたから委ねられたわざに励んでいきたいと願います。どうぞ私たちをお用いください。

そのためにも日々御言葉によって私たちを養ってください。祈りを導いてください。聖霊がとりなししてくださることに支えられ、たゆまず祈る生活へと導いてください。

私たちの主、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

■祝福

＜説教者による＞